

平成25年度進行管理・評価シート
三好市歴史的風致維持向上計画（平成22年11月22日認定）
（最終変更平成25年8月13日）

■進捗評価シート(様式1)

	頁数
①組織体制(様式1-1)	
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 阿佐家住宅保存修理事業	3
2 川人家長屋門保存修理事業	4
3 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業	5
4 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業	6
5 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	7
6 農地の保全整備と遊休地の活用事業	8
7 文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	
祖谷平家まつり	9
襖からくり公演会	10
親子でふれあう重でんけん	11
茅刈り体験塾、石積み体験塾	12
「平家落人伝説」探訪ウォーキング	13
蔓橋架け替え資材の確保と育成活動	14
池田のうだつのまち歩き「車座勉強会」・「ガイド養成講座」	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用について、文化財の修理(整備)について	16
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	17
文化財周辺の環境保全について、文化財の普及・啓発について	
3 文化財の防災について、埋蔵文化財の取扱いについて	18
市町村の教育委員会の体制について	
保存・活用に関わる各種団体について	
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 大歩危峡 国指定天然記念物7月申請 ほか	19
2 個人客増へ窓口強化「そらの郷」 ほか	20
3 古民家舞台に芸術祭 池田町・東祖谷 ほか	21
4 東祖谷の遺構 冊子に ほか	22
5 大歩危が国天然記念物に ほか	23
6 刻みたばこの解説映像制作 ほか	24
⑥その他(様式1-6)	
1 文化財の魅力向上につながる取り組み	25
2 三好市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み	26

■総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	
1 文化財建造物の保存と活用に関すること	27
2 伝統文化の支援に関すること	28
3 山村集落と商家の町並みの景観整備に関すること	29
4 歴史的建造物の維持、保存に必要な資材確保に関すること	30
5 市内の歴史的文化的遺産の掘り起こしと価値づけに関すること	31

■総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	32,33
---------------------------	-------

■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	34
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況
計画調整担当部署と事業担当部署の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されている。他事業においても連絡・調整等の連携強化が波及した。円滑な事業推進を図るため、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会(平成25年5月20日、同年12月17日、平成26年3月5日)及び三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会(平成25年5月20日、同年12月20日)、三好市文化財保護審議会(平成25年7月18日、平成26年3月13日)をそれぞれ開催し、計画進捗評価について意見を伺った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

計画期間に基づき掲載事業に順次着手しているが、事業ごとに様々な課題が生じており、より密な関係部局との連携が必要である。重点区域内における新たな事業展開が検討されており、歴まち計画との調整が課題となっている。計画期間及び重点区域の見直し、歴史的風致形成建造物の追加指定、歴まち計画関連事業の再要望等について関係部局との協議を進め、近く対応方針をまとめる。

状況を示す写真や資料等



庁内調整会議の開催
 企画調整課、財政課、観光課、農業振興課、工務課、文化財による打ち合わせ状況
 ・開催日: H25. 8. 27
 ・開催場所: 市役所会議室
 ・主な議事
 ○三好市歴史的風致維持向上計画の変更計画申請にかかる掲載事業について
 ○歴まち計画関連事業について

三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催

- ・開催日 第1回 H25. 5. 20
 第2回 H25. 12. 17
 第3回 H26. 3. 5
- ・開催場所: 第1回 市中央公民館会議室
 第2回 市総合体育館会議室
 第3回 市中央公民館会議室

・主な議事

- (第1回)
 - 平成24年度分の計画及び事業の進捗状況に関する評価について
 - 平成25年度分の事業計画について
 - 歴史的風致維持向上施設の指定について
- (第2回)
 - 三好市歴史的風致維持向上計画(変更案)について
 - 総括評価の進め方について
- (第3回)
 - 三好市歴史的風致維持向上計画(変更最終案)について
 - 平成25年度分の進捗評価について



第2回計画協議会の開催状況(H25.12.17)

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、景観に対する市民の関心が高まる中、平成23年3月「景観計画」を策定、平成23年6月には「景観条例」を制定して、平成24年4月1日に景観条例を施行した。以降、景観重要建造物(樹木)の調査の実施(申請1件(却下))、景観パンフレットの作成、建築関係業者説明会の開催、電気事業者との景観形成協議の実施、公共工事ガイドラインの作成、景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催を行った。25年度においては、景観計画区域内で工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定した。

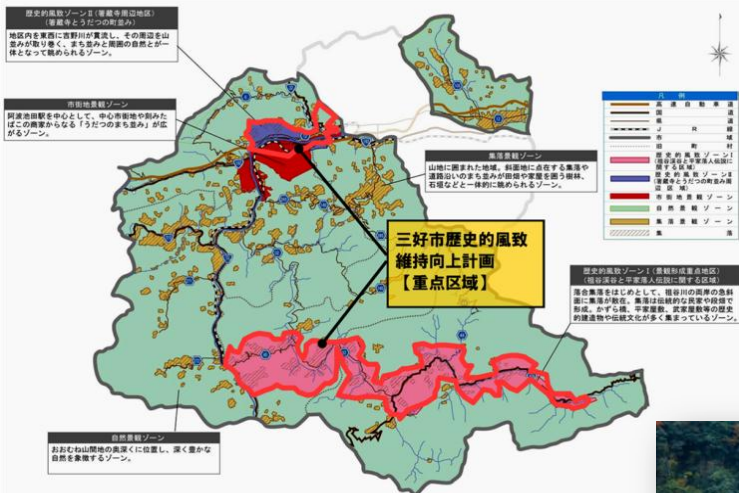
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為を外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等



特に三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「祖谷溪谷と平家落人伝説に関する区域」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「箸蔵寺とうだつの町並み周辺区域」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。

■三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)



■景観計画区域内における工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定するための現地協議



■三好市景観計画書(平成23年3月)



■三好市景観・ダイジェスト版(平成25年3月)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
阿佐家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)

計画に記載している内容 阿佐家住宅(平家屋敷)の建物を購入し、解体、復原修理を実施する。敷地は徳島県指定区域を借り受け、周囲の建物、屋敷林、庭園等を市の文化財公開施設として、一体管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

24年度において売買契約の締結、主屋の仮設・解体工事の実設計を作成した。25年度では、主屋の仮設工事、工事用仮設住宅の建設等を施工した(24年度繰越事業:H25.3月～H26.3月)。また、阿佐家住宅が徳島県指定有形文化財であることから、関係機関(県文化財保護審議会、県教委等)と継続的な協議を進め、修理届等を提出した

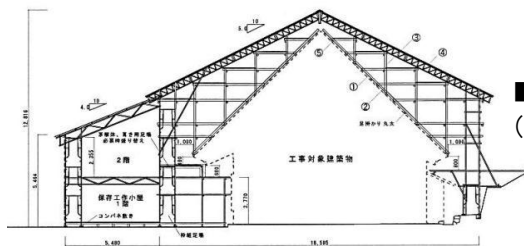
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祖谷平家伝説ゆかりの地であり、代々受け継いできた歴史的建造物(文化財)であることから買取り協議や設計協議に時間を要したため、25年度内完了予定の仮設・解体工事の進捗が遅れ、解体工事の着手を次年度に繰り越すこととなった。これに伴い、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【図面及び現況写真】



阿佐家住宅主屋の現況(正面)



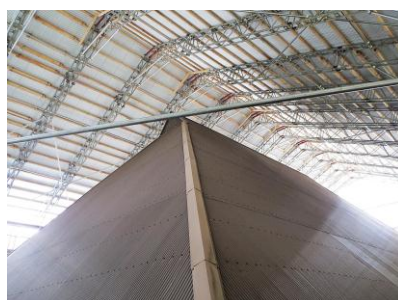
■主屋仮設工事
(素屋根桁行)断面図



阿佐家住宅の特徴的な式台玄関



阿佐家住宅周辺の全景写真



■主屋仮設工事の施工状況

**評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
川人家長屋門保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)		
計画に記載している内容	市が公有化し、保存改修を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

25年度において、前所有者より寄付の申入れがあったため、事業主体が個人から市に変更となった。これにより、同年度において、所有権移転登記、認定計画の軽微な変更を行い、保存改修工事の実施設計を作成した。保存改修工事については、25年度繰越事業として平成26年3月に発注した(工期:H26.3月~H26.12月予定)。また、川人家長屋門が徳島県指定有形文化財であることから、関係機関(県教委等)と協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画当初は個人所有建造物で個人による事業主体であったが、平成25年8月に市に対して寄付の申し入れがあったため、所有権移転登記手続き、認定計画の軽微な変更、予算の組み替え(補正予算)に時間を要したため、事業着手が遅れ、保存改修工事を次年度に繰り越すこととなった。

【図面及び現況写真】



川人家長屋門の現況(正面)



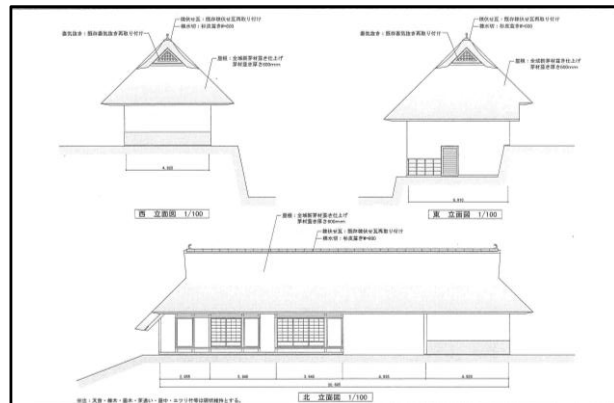
■屋根部の
破損状況



川人家長屋門の現況(背面)



川人家長屋門の入口と石階段



■改修立面図

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成25年度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	保存地区の住宅15棟の保存修理を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

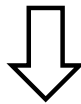
平成25年度

●井上家(主屋、隠居屋)の屋根、外壁の保存修理が完了 ※屋根はトタン葺きの葺き替え(改修)、外壁はひしゃぎ竹、木製建具等に改修

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画的な保存修理事業を進めているが、費用負担や管理面でトタン屋根から茅葺屋根に復原することへの所有者の理解が得られにくい。引き続き所有者や管理者に対し、伝統的建造物群保存地区の保存方針に対する理解や協力を求めていく取り組みや費用負担の軽減を図る仕組みづくりの検討が必要である。所有者からの保存修理事業に対する要望が引き続きあるため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等

井上家主屋保存修理(施工前)



井上家主屋保存修理(完成)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(地域住宅計画に基づく事業)

計画に記載している内容 保存地区の空き家8棟を改修し、滞在型交流施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区内で空き家となっている特定物件(建造物)を「修理」、非特定建造物を「修景」の対象として、平成25年度では特定物件4棟、非特定物件1棟の修理・修景工事を施工した。

(新部家)主屋、隠居屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など)、離れ屋の保存修景(外壁の改修など)
 (曾我家)主屋・隠居屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など)

※保存修理が完了した建造物から滞在型交流施設として活用を図っている。

利用実績: H24年中(H24. 4月～H24. 12月の9か月で2棟利用) / 806人 H25年中(H25. 1月～H25. 12月の12か月で2棟利用) / 987人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

25年度から文化庁と国土交通省の2つの事業の使い分けによるアロケーションで実施することとなり、その両事業の調整が難しく、関係部局、設計業者との十分な調整、協議が必要である。当初計画は22～25年度で8棟の改修を計画していたが、所有者協議、設計協議等に不測の時間を要したため、事業期間を延伸する必要がある。

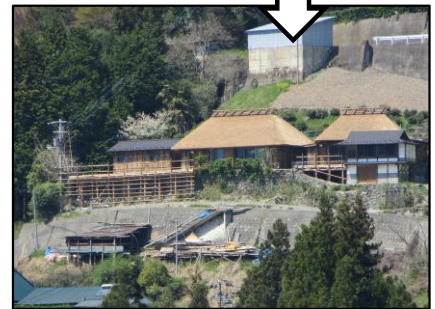
状況を示す写真や資料等



特定物件の空き家「新部家」施工前



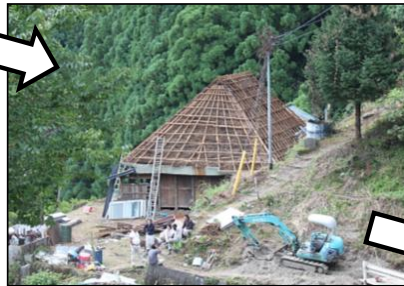
「新部家」施工状況



「新部家」施工後(完了)



特定物件の空き家「曾我家」施工前



「曾我家」施工状況



「曾我家」施工後(完了)

**評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業期間	平成22年度～平成25年度
------	---------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	保存地区の建造物の屋根の塗り替え及び張り替えを実施する。
-------------	------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

25年度も引き続き、保存地区内にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張り替えに対する助成を行い、景観改善が図られた。
 平成25年度： 6棟(6件)の塗り替えを実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観に配慮した屋根の塗り替えが進み、一定の効果がみられるが、地区内には、塗り替えを終えていない建造物が今も多く、地区全体での景観向上を図るには、引き続き所有者からの要望に応え、事業期間を延伸する必要がある。
------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

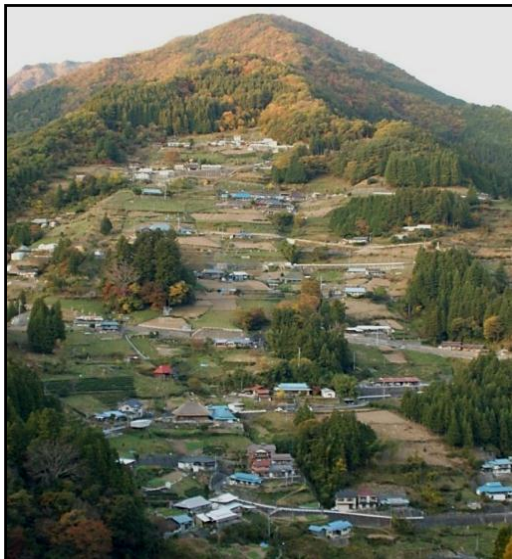
■伝統的建造物群保存地区の景観改善を図る特定物件の屋根の塗り替え
 ※保存活用ガイドラインに沿った色彩(こげ茶)に統一



屋根塗り替え前



屋根塗り替え後(完了)



修景を行う前の保存地区全景



修景事業が進む保存地区全景(H25.11月現在)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
農地の保全整備と遊休地の活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成25年度		
支援事業名	耕作放棄地再生利用交付金		
計画に記載している内容	歴史的風致維持向上施設周辺の農地の保全と遊休地の活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○耕作放棄地再生利用緊急対策事業・・・耕作放棄地再生利用交付金を活用し、耕作放棄地解消や地域農業活性化のための農地再生(土壌改良、作付け等)を行った。 ○耕作放棄地解消に向けた啓発活動・・・「全国一斉耕起の日」の記念行事として、「耕作放棄地再生作業、機械実演会」を隣接の東みよし町の協議会と共催で開催した。JAアグリサポート(JAの農業作業受託機関)が耕作放棄地を乗用草刈機等を用いて再生することで、耕作放棄地解消を啓発し、また同機関を利用しての再生を促した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		山間地における高齢化の進行と後継者不足による遊休地(耕作放棄地)の解消が課題となっている。現在の対策事業で一定の効果がみられるが、事業効果を市内全域に広げるため、事業期間を延伸する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
			
			
<p>耕作放棄地解消のための植えられたソバ刈り探り開催状況 (開催日及び開催場所) H25. 10. 30 池田町西山の耕作放棄地</p>			

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

項目	現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 実行委員会単独事業

計画に記載している内容 平家落人伝説を題材とした武者行列、西祖谷の神代踊(重要無形民俗文化財)等、民俗文化財の公開

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祖谷平家まつり/地元実行委員会が主催となり、祖谷平家落人伝説を題材にした創作劇や武者行列のほか、祖谷地方で継承される伝統芸能が披露され、地域資源を活用した啓発活動や伝統文化の継承が図られた。

開催日: H25. 10. 27 かずら橋夢舞台(西祖谷山村)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元実行委員会で主体的に事業が展開され、伝統文化の継承等の効果がみられているが、今後も事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等



祖谷平家まつりで披露された祖谷落人伝説を題材にした創作劇



恒例の武者行列に参加する地元児童



伝統芸能「祖谷衆太鼓」の披露

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成25年度		
支援事業名	保存会単独事業		
計画に記載している内容	市の有形民俗文化財「襖絵」と多彩な郷土芸能の公開		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
襖からくり公演会／西祖谷山村で市指定有形民俗文化財に指定されている「後山からくり襖絵」(後山地区)と「徳善からくり襖絵」(徳善地区)を保存・継承する地元保存会が襖からくりの公演会を開催し、伝統文化の継承や文化財保護への啓発が図られた。			
開催日：平成25年10月 5日 後山農村舞台 10月12日 徳善阿弥陀堂 10月19日 後山農村舞台 10月20日 徳善阿弥陀堂 10月26日 徳善阿弥陀堂			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地元実行委員会で主体的に事業が展開され、伝統文化の継承等の効果がみられているが、今後も事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。	

状況を示す写真や資料等

からくり襖絵公演

- 日時 10月 5日(土) 20:30～
 場所 後山農村舞台
- 日時 10月12日(土) 20:30～
 場所 徳善阿弥陀堂
- 日時 10月19日(土) 20:30～
 場所 後山農村舞台
- 日時 10月26日(土) 20:30～
 場所 徳善阿弥陀堂

山間の閑静な場所につくられた森舞台で襖絵を巧みに操り、迫力ある「虎」「龍」などの図柄を次々と転換させる「からくり襖絵」。かがり火の中、幻想的な舞台上で祖谷の郷土芸能と合わせて公演されます。



問い合わせ先 三好市観光案内所 フリーダイヤル 0120-404-344

祖谷文化伝承まつり

- 日時 10月20日(日) 開演 12:00～14:30
- 場所 徳善阿弥陀堂境内

全国の農村舞台の中で唯一の移動組み立て式小屋掛け農村舞台は、徳善地区のみに残っており、保存継承されています。9組の襖絵を左右にわけたり、縦、横、斜めに回転させて場面を転換させる巧妙なからくり機構であり、これと併せて、合間に地元伝統芸能や阿波人形浄瑠璃の公演も行います。



問い合わせ先 梅本：(0883) 84-1455 山口：(0883) 84-1111



地元保存会により公演された徳善地区の「襖からくり」(H25.10.26)

徳善からくり襖絵が9枚1組からなり、それぞれ伝統的な操作技術によって、襖絵が左

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成25年度		
支援事業名	団体単独事業		
計画に記載している内容	三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区での体験学習		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
親子でふれあう重でんけん／平成25年度において三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区区内で、NPO法人主催の米作り体験事業(田植え、稲刈り、脱穀の体験)が実施され、文化的・歴史的な景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。 ●田植え体験／田植え祭り 平成25年6月15日実施 ●稲刈り体験／稲刈り祭り 平成25年10月13日実施 ●脱穀体験／脱穀祭 平成25年11月9日実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	関係団体で主体的に事業が展開され、景観保全への普及啓発等の効果がみられているが、今後も事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



伝統的建造物群保存地区内にある水田で行われた田植え体験



稲刈り体験



稲刈り体験



足ふみ式脱穀機での脱穀体験

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成25年度

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 協議会単独事業

計画に記載している内容 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区での体験学習

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

茅刈り体験塾、石積み体験塾／平成25年度においては、地元保存会が茅刈り作業を実施したが、体験型の茅刈り作業は実施できていない。しかしながら、地元保存会と地元NPO法人が連携協力し、三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区を訪れた観光客や宿泊客を現地案内する「落合集落ガイド」やこの地域に伝わる食文化を体験していただく「そば打ち体験」が実施され、地域資源を活かした啓発活動や文化財保護への取り組みが進められた。

参加状況: 落合地区ガイド 121人、そば打ち体験: 27人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

石積み体験については、地区内で崩壊が確認されなかったため、実施していないが、日頃から石積みを崩壊させないメンテナンス的な取り組みが必要である。このため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等



落合地区を地元ガイドが現地案内する「落合集落ガイド」の利用者も増えつつある。



伝統的建造物群保存地区を「平家伝説の里」として設定し、ここを訪れる観光客等

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成25年度

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 団体単独事業

計画に記載している内容 歴史文化めぐり、体験学習

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「平家落人伝説」探訪ウォーキング/地元有志で組織される体験塾のメンバーが平家落人伝説の語りべとなり、落人伝説の伝承地(平家屋敷:阿佐家住宅、平家の赤旗など)を巡る「かたりべと探訪ウォーキング」が実施した。地域資源を活かした山村集落景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。

25年度ウォーキング参加者数: 100人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

地元団体が主体的に事業が展開され、地域資源を活かした景観保全への普及啓発等の効果がみられているが、今後も事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等



平家落人伝説探訪ウォーキング用に作られたガイドマップ (H23作成、H24からウォーキングで活用)

**評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

評価対象年度 平成25年度

項目	現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 市委託事業

計画に記載している内容 シラクチカズラの植栽と保護活動

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

蔓橋架け替え資材の確保と育成活動／地元実行委員会の「祖谷のかずら橋架け替え用資材確保実行委員会」が主体となり、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の架け替え用資材となるシラクチカズラの保護や育成のための活動を実施し、文化財保護活動と地域資源を活用した啓発事業が図られた。

・苗木の林地植栽 平成25年7月3日 ・苗木作り体験 平成25年7月19日 ※地元中学生が参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

祖谷の蔓橋の資材確保に向けた調査研究や育成活動が進められ、一定の効果がみられているが、今後も引き続き事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。

状況を示す写真や資料等



苗木の管理状況
(2年を経過したシラクチカズラの苗木)



地元実行委員会の開催(H25.6.19 西祖谷総合支所)



苗木作り体験
(地元中学生が徳島森林管理署や実行委員会のメンバーから指導を受けながらシラクチカズラの苗木作りを体験し)



苗木植栽活動
(地元実行委員会が林地にシラクチカズラの苗木約150本を植栽した)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成25年度		
支援事業名	市委託事業		
計画に記載している内容	池田町と井川町のうだつのある伝統的な町並みの地域資源の発掘とガイド育成		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
池田うだつのまち歩き「車座勉強会」「ガイド養成講座」/市観光協会主催による池田うだつのまち歩きガイド養成研修が実施された。25年度は、にし阿波観光圏事業「にし阿波と恋する時間～あわこい～」のガイド養成もかねた池田のまち歩きツアーを開催したほか、とくしま観光ボランティア会との交流・研修を兼ねた池田まち歩きが開催された。 開催日： H26.3.1、H26.3.8 参加人数： 計39人 開催場所： 池田まち並み 内 容： 池田のまち並みを市外からの来訪者やボランティア団体に対してガイドを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		市内の伝統的な町並みを地域資源として活かす町歩きガイド養成等の活動が進められ、一定の効果がみられているが、今後も引き続き事業効果を継続させる必要があるため、事業期間を延伸する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			



町並みガイド養成研修の状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
		現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について ●文化財の修理(整備)について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
- ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
- ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
- ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の保存・活用について
 市内の未指定文化財の調査(山城町の大日雲神社)、市内の伝統的な町並み調査の実施(井川町辻地区)
 ●文化財の修理(整備)について 25年度
 阿佐家住宅保存修理(P3 参照)、伝統的建造物群保存地区保存修理(P4～P5参照)、伝統的建造物群保存地区修景事業(P6参照)、重要文化財箬蔵寺本殿奥殿大棟保存修理

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市内で大切に保存・継承されている民俗芸能(伝統行事)が過疎・高齢化等による後継者不足により、保存継承が次第に難しくなっているが、用具・衣装の修理に関しても会員減少などで保存会の自主的な活動が困難となっている。このため、市(県・国)による支援が一層必要である。

状況を示す写真や資料等



詳細調査を行った未指定建造物(大日雲神社)



重要文化財箬蔵寺本殿奥殿大棟修理
 (本殿裏山からの倒木により、奥殿大棟鬼部が一部き損したため、小修理を実施した)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について ●文化財周辺の環境保全について ●文化財の普及・啓発について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。
- ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。
- ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。
- ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用を行うための施設について/説明板・標柱の作成(設置は26年度)
- 文化財周辺の環境保全について/市景観条例の施行(P2参照)
- 文化財の普及啓発について/文化財冊子用写真撮影、市ホームページを活用した情報発信
- 伝統的建造物の公開と交流施設としての活用/旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)の公開、重伝建落合地区での交流施設(宿泊施設)の活用

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

広い市域に点在する文化財は約120件あり、これらを巡る場合、特に山間部を通るアクセスルートが複雑である。それぞれの文化財をつなぐための周遊ルート設定や案内板の整備が急がれている。文化財説明板の設置に際しては、景観やメンテナンス等、目的に合わせた規格・仕様を検討し、関係部局とのサインポリシーの調整が必要である。

状況を示す写真や資料等



重要伝統的建造物群保存地区の東祖谷山村落合地区の空き家を改修し、滞在型交流施設として活用を図った。



TOP > 組織 > 文化財課
 HOME > 生涯 > 三好市の文化財

「徳善家住宅」が県指定文化財(建造物)に指定されました

2014年2月25日

平成26年2月14日付で、三好市西祖谷山村の「徳善家住宅」が徳島県の有形文化財(建造物)に指定されました。
 徳善家住宅の指定により、市が有形文化財件数は全部で115件、(国登録、記録遺産等除く)
 県指定有形文化財(建造物)は16件となりました。

◀徳善家住宅▶ 所在地:三好市西祖谷山村徳善 種類:有形文化財(建造物)

大正初期の北東約400メートルにあり、山城守から祖谷山へ入る街道の入口に面して存在している「徳善家」は、近世を通じて東部の祖谷山を結ぶた高野倉主人家(徳谷八屋敷)の一つです。
 戦国時代の武将南宗正の家系である伊藤兵衛の地所に附随し、土地である河内国海部郡の地名(河内)を継承して名乗っていたが、後にこの地で活動に没頭したとされています。
 主屋は建築年代が不明(1896年)、間口10間半、奥行き8間半の大規模な木造入母屋造茶置き平屋建てで現在座敷は復元されている。木型上等農家の形式を現しています。
 内陣は天井が高く、壁紙を貼る身振りが納涼に多用で縁を飾っているほか、御座敷も多少、趣味的な様式を現している。また、縁側には番付の代わり平石を置いた「伊藤」が特徴的だが、主屋前側には「馬場」と呼ばれる広大な敷地があり、主屋を取り巻く地形を活かした築山の築造が良好な状態で残っています。

市ホームページを活用した情報発信
 (2件の文化財指定を紹介)



阿波藩により生産が奨励されていた葉たばこが三好地域(県西部)で刻みたばことして隆盛を極めた歴史を資料館で公開

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の防災について ●埋蔵文化財の取扱いについて ●市町村の教育委員会の体制について ●保存・活用に関わる各種団体について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
 ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
 ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
 ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の防災について／市CATV、市報による普及啓発
 ●埋蔵文化財の取扱いについて／試掘調査：(2件)
 ●保存・活用に関わる各種団体について／文化遺産を活かした地域活性化事業、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続(18団体)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・市指定文化財等の防災設備が未整備の状況となっている。このため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要である。
 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方策を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



埋蔵文化財試掘調査の状況
 (H25. 11. 2~11. 3 三野町加茂野宮地区)



重要文化財木村家住宅での防災設備の保守点検
 (実施日:H25. 9. 9)



後山からくり襖絵と民俗芸能の公開状況(H25. 10. 19 後山農村舞台)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
大歩危峡 国天然記念物7月申請	H25.4.12	徳島新聞
五穀豊穣祈りの射 両皇神社で百手祭	H25.4.17	徳島新聞
住民有志が「守ろう会」 黒沢湿原生態系 後世に	H25.5.10	徳島新聞
池田町 うだつの町並み後世に 地元保存会結成	H25.5.18	徳島新聞

評価対象年度 平成25年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。</p>

状況を示す写真や資料等



五穀豊穣祈りの射
三好 両皇神社で百手祭

1008本の矢を放つ約100名、約1000発の矢を放つ。五穀豊穣や家内安全を祈る三好市出城町下名両皇神社で、約100名が「百手」の舞い、七輪を立てる「射」が同地区の西皇神社「野見子」と呼ばれる射手12人が、6人ずつ交互に送られた。

同地区の百手祭は約350年の伝統があり、市の無形文化財に指定されている。地元住民が受け継いでいて、西皇神社に先んじて、近くの熊野神社でも行われた。(坂田節郎)



大歩危峡 国天然記念物7月申請

三好市教委 地質学的に希少

申請するのは、同市山形町成瀬が中心の地帯。三好市教委は、同市山形町成瀬が中心の地帯を、国の天然記念物指定を申請する大歩危峡一同市山形町成瀬を申請する。地質学的に希少な地帯を、国の天然記念物指定を申請する。地質学的に希少な地帯を、国の天然記念物指定を申請する。



三好市池田町
うだつの町並み後世に
地元住民が保存会結成

重要伝統的建造物群 国指定目指す

三好市池田町うだつの町並み後世に、地元住民が月白に「うだつ」の町並みを保存し、国の重要伝統的建造物群保存地区(重要伝統的建造物群保存地区)を申請する。住民有志が「守ろう会」を結成し、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定する。住民有志が「守ろう会」を結成し、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定する。



黒沢湿原の生態系 後世に 住民有志が「守ろう会」

定期巡視7月にも開始

黒沢湿原の生態系を後世に伝えるため、住民有志が「守ろう会」を結成し、国の重要伝統的建造物群保存地区(重要伝統的建造物群保存地区)を申請する。住民有志が「守ろう会」を結成し、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定する。

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
個人客増へ窓口強化「その郷」	H25.7.12	徳島新聞
空き家活用し交流促進	H25.8.28	徳島新聞
井内の雨乞い踊り復活 市指定無形民俗文化財	H25.9.14	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等



空き家活用し交流促進

「NPO法人「マチトソラ」(三好市池田町)」

「空き家」を活用し、交流促進を図る。NPO法人「マチトソラ」が、三好市池田町に所在する空き家を改修し、事務所として利用している。週に1回、カフェの営業も始めた。マチトソラが空き家を改修し、事務所として利用している古民家。週に1回、カフェの営業も始めた。三好市池田町マチトソラ

「空き家」を活用し、交流促進を図る。NPO法人「マチトソラ」が、三好市池田町に所在する空き家を改修し、事務所として利用している。週に1回、カフェの営業も始めた。マチトソラが空き家を改修し、事務所として利用している古民家。週に1回、カフェの営業も始めた。三好市池田町マチトソラ



井内の雨乞い踊り復活

三好市井内町の井内地区に伝わる市指定無形民俗文化財「井内の雨乞い踊り」を復活させようと、地元住民らが保存会の立ち上げに取り組んでいる。会員の高齢化や町村合併の影響で活動が休止状態にあったが、11月に8年ぶりの披露を計画。保存会活性化のきっかけにしよう。練習や新たな会員集めに励んでいる。

三好市指定無形民俗文化財

井内の雨乞い踊りは、江戸時代から伝わる。雨乞いをするために、踊り手は雨乞い用の衣装を着用し、踊りながら雨乞いをする。三好市指定無形民俗文化財として指定されている。

住民ら活動再開 11月、8年ぶり披露

井内町の雨乞い踊り保存会が、11月に8年ぶりに活動再開し、披露を行った。住民らによる活動再開は、地域の活性化に貢献している。

2013年(平成25年)7月12日 金曜日

県西部滞在型観光推進「その郷」

個人客増へ窓口強化

要望に対応 旅行プラン提案

移動手段や宿の手配も

「その郷」は、県西部の観光振興を目的として、観光客のニーズに応じたサービスを提供している。窓口強化により、個人客の増加を期待している。また、旅行プラン提案や移動手段、宿の手配などのサービスも提供している。

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
古民家舞台に芸術祭 池田町・東祖谷	H25.9.20	徳島新聞
芳醇な香り 酒蔵包む 三好で新酒造り	H25.10.3	徳島新聞
祖谷豆腐・番茶・そば茶 伝統食材おいしく料理	H25.10.3	徳島新聞

評価対象年度 平成25年度

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

H25.9.20 第3種郵便物認可 5版

現代アート展・音楽ライブ… 古民家舞台に芸術祭

池田町・東祖谷

三好市の池田町と東祖谷で11月2、3の両日、瀧庵の古民家を舞台にした「マチトラ芸術祭」が開かれる。都市部(マチ)と山間部(トラ)の歴史ある建物での新たな試みを通して地域の可能性を広げようと、地元有志が実行委員会を設立。現代アートの展覧と映像作品の上映、音楽ライブを計画している。

211作品、ボランティア募集

会場は瀧庵のほか、池田町、上野、意美、三好、池田の5つの残りの町並みや出展者にまつりホミのイベントスペース、リアル写真講座、モビル「ささる」、東祖谷の落つきり敷とつづいて「合集落」の宿泊施設「クシヨップ」もある。

「餅餅」「雨靴」など9カ所、一般の人が入る機会があまりない古民家内、トンネル、瀧庵を管理する芸術作品発表の場として開放する。

絵本作家のミロコマチ、中野、都市部と山間部の若手作家や喜多さんら16人、古民家を度々巡り、若者を中心に集客が期待できるアート展を行うこと

実行委員は、多くの人に参加してもらおうと、展示作品や運に携わるボランティアを募集している。問い合わせは「マチトラ」のホームページ「http://michトラ.com」から、問い合わせは「マチトラ」(電話00003471769)。(坂田佑那)

H25.10.3

芳醇な香り 酒蔵包む 三好で新酒造り

三好市井川町の芳水酒造で、日、本格的な新酒の仕込み作業がスタートした。酒蔵には芳醇な香りが立ちこめ、活気づいている。

この日は、蔵人4人が早朝から作業。麹菌を振りまいた約150kgの蒸し米を温度や湿度が一定に保たれた室に入れ、冷ましてから布で包み込む仕込みを精を出した。

日間暑かして菌を増殖させた後、酵母と水を加えて酒母をつくり、さらに4日間の本仕込みを経て、完成させる。新酒は11月、同社にあと、近年は全国的に日本酒の味が見直されており、出荷量も上向きであるという。

三好市には「芳水」のほか「三好」(三好酒造)、「今小町」(中和商店)の銘柄もあり、新酒造りは来年春まで続けられる。(興佑策)

新酒の仕込み作業をする蔵人＝三好市井川町の芳水酒造 H25.10.3

H25.10.3

祖谷豆腐・番茶・そば米 伝統食材 おいしく料理

三好で教室

三好市の伝統的な食材「日、同市池田町のギャラリー」内外の主婦が食材を使った料理教室が2日、百年蔵であり、県の活用方法を学んだ。

自然食をテーマにした料理の雑誌連載で知られる料理研究家・といさん(兵庫県)が指導。参加者は祖谷豆腐や番茶、そば米を地元で昔から親しんでいる食材を使って「祖谷豆腐のみそ漬け」など7品を作った。

三好市で地域の伝統や文化を伝える活動をしているNPO法人「マチトラ」が主催。今回の教室で作った料理などをまとめたレシピ集を製作中で、11月に同市池田町で開かれる「マチトラ」の会場で配る。(坂田佑那)

【紙面編集】山下直佑

評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 平成25年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
東祖谷の遺構 冊子に	H25.10.15	徳島新聞
西祖谷で平家まつり 襖からくりに歓声	H25.10.28	徳島新聞
池田と祖谷 古民家彩る「マチトソラ芸術祭」開始	H25.11.3	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

H25.11.3(日)

池田と祖谷 古民家彩る
「マチトソラ芸術祭」開始

深まる秋
アートに活気

無数の竹を使って表現した「マチトソラ芸術祭」の立体作品＝三好市東祖谷落合の三所神社

2013年(平成25年)10月15日 火曜日

三好市東祖谷の集落支援員小西文夫さん(63)が、壊れかけた門碑や生活道として役目を終えたつり橋といった地域の遺構を冊子(A4判、40頁)にまとめた。旧東祖谷山村誌などに掲載されておらず、忘れ去られようとしている歴史を記録に残そうと独自に調査。小西さんは「価値は低いかもしれないが、地域を切り開いた先人が築いた歴史。記憶から失われるのは惜しい」と話している。

壊れかけた門碑 役目終えたつり橋

東祖谷の遺構 冊子に

集落支援員 埋もれた歴史記録
小西さん調査

集落の入り口に建てられた門碑を調べる小西さん＝三好市東祖谷

西祖谷で平家まつり
襖からくりに歓声

三好市西祖谷山村徳 多彩な絵が描かれ善の徳壽阿弥陀尊境内 9枚1組の襖絵を繰って26日夜、襖からくり 作。襖を斜めに傾けての公演があった。周辺一帯に回転させる「スの宿泊施設を利用して マンガク」など、全いる観光客ら50人が、国内的にも珍しいとされる襖の絵柄を巧みに変化する複雑な仕掛けが披露させる伝統技法を継承されるために、観客から歓声が上がった。

境内には組み立て式の舞台が設置され、徳間に市内各地で多彩な善機絵からくり舞台実 催しを行う「祖谷平家行委員会」のメンバー約まつり」の一環。襖が20人が、雲海や大広間らりの研究プロジェクト

クドに取り組んでいる一行15人も視察に訪れ大阪芸術大学教授のた。(異佐藤)

襖絵を斜めに傾けて回転させる「スマレンガク」＝三好市西祖谷山村徳善

平家伝説を題材にした創作劇を演じる祖谷十八人會＝三好市のかずら橋夢舞台

三好市で開かれている祖谷まつりのメイン行事「平家伝説と郷土芸能」が27日、同市西祖谷山村のイント広場からずら橋夢舞台で、県内外の観光客らが平家伝説に基づく創作劇や武者行列を楽しんだ。

東祖谷の住民団体・祖谷十八人會は落人伝説の創作劇「二人の安徳」を上演。祖谷に落ち延びた安徳と安徳天皇が絆を強める物語、017年の初披露時よりも殺陣のシーンを充実させ、観客を楽しませた。

安徳天皇が崩御するシーンで涙を流していた同市東祖谷の喜多美(さん76)は「二人の運命練習しているの聞いていたが、こんなに感動させてもらった」と今後の継続を望んだ。

最後、甲冑に身を固めた6人が武者行列を練り歩くと、大勢の観客が男壮姿に力まを向けていた。(坂田佑耶)

落人伝説題材に創作劇

評価軸⑤-5
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 平成25年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
大歩危が国天然記念物に	H25.12.28	徳島新聞
外国人観光客 三好に宿泊 前年の1.7倍	H26.1.20	徳島新聞
大歩危・祖谷 渓谷美 観光客を魅了	H26.1.26	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

2014年(平成26年)1月20日 月曜日

「大歩危・祖谷に泊る会」が受け入れた主な外国人宿泊者数

国	2012年	2013年
香港	513	1565
台湾	606	870
米国	199	328
フランス	90	150
韓国	88	148
中国	108	102

13年3872人 トップ香港

誘客奏功、円安追い風

大歩危や祖谷、かつての観光地が、今、前年の約1.7倍に伸びた。大歩危・祖谷に泊る会が受け入れた外国人観光客が増えている。2013年の主要ホテル5社の宿泊者は計3872人。その内訳は、前年比1.7倍に伸びた。このうち、香港が最大の宿泊客を占めた。台湾、米国、フランス、韓国、中国が続いた。

三好市主要ホテル5社が、前年の約1.7倍に伸びた。大歩危・祖谷に泊る会が受け入れた外国人観光客が増えている。2013年の主要ホテル5社の宿泊者は計3872人。その内訳は、前年比1.7倍に伸びた。このうち、香港が最大の宿泊客を占めた。台湾、米国、フランス、韓国、中国が続いた。

2014年(平成26年)1月26日 日曜日

大歩危の奇岩川 剣山山頂(標高1900) 国定公園の一環として「国定公園内にホテル」を建設する計画が、大歩危・祖谷に泊る会から反対の声が上がっている。大歩危・祖谷に泊る会からは、大歩危・祖谷の自然環境を保全するよう求められている。

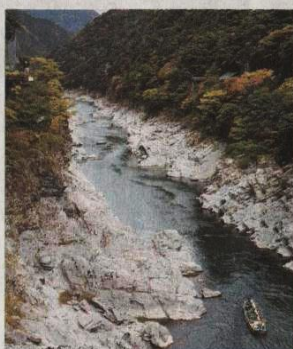
大歩危・祖谷 渓谷美 観光客を魅了

大歩危の奇岩川 剣山山頂(標高1900) 国定公園の一環として「国定公園内にホテル」を建設する計画が、大歩危・祖谷に泊る会から反対の声が上がっている。大歩危・祖谷に泊る会からは、大歩危・祖谷の自然環境を保全するよう求められている。

三好市の吉野川上流 渓谷の地形が素晴らしい。大歩危・祖谷に泊る会からは、大歩危・祖谷の自然環境を保全するよう求められている。

大歩危・祖谷 渓谷美 観光客を魅了

大歩危の奇岩川 剣山山頂(標高1900) 国定公園の一環として「国定公園内にホテル」を建設する計画が、大歩危・祖谷に泊る会から反対の声が上がっている。大歩危・祖谷に泊る会からは、大歩危・祖谷の自然環境を保全するよう求められている。



国の天然記念物に指定される大歩危＝三好市山城町西宇

9 大歩危が国天然記念物

文化審議会が11月15日、三徴(海洋レートの沈み込み、好市の景勝地「大歩危」を国運動で認定する)が、地下の天然記念物に指定するよう深くから地上に上がった過程、下村博文文部科学相に署名し、読み取れる「日本列島の成り立ち」を、2014年1月指定の見直しを知り、貴重と評価された。2014年1月指定の見直しを知り、貴重と評価された。2014年1月指定の見直しを知り、貴重と評価された。2014年1月指定の見直しを知り、貴重と評価された。

評価軸⑤-6
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 平成25年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
刻みたばこの解説映像制作	H26.2.2	徳島新聞
徳善家住宅県有形文化財に 名主の暮らし伝える	H25.12.28	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。</p>

状況を示す写真や資料等

2014年(平成26年)2月8日(土) 徳島新聞

徳善家住宅(三好市) 県有形文化財に 名主の暮らし伝える

徳島県教委は7日、三好市西祖谷山村の古民家「徳善家住宅」を県の有形文化財(建造物)に指定することを決めた。近世に祖谷地方を治めていた名主の屋敷らしい大柄な造りが特徴。指定日は14日の子夜。県が指定する建造物の有形文化財としては16件目、県指定文化財は336件となる。

徳善家住宅は大歩危駅の北東約400メートルあり、敷地面積約2700平方メートル。主屋は1886(慶応2)年の建築で、木造平屋約2300平方メートル。天井が高く、屋根を支える骨組(谷八屋敷)の一つ。県教委によると、名主八家の住宅が現存するのは、「阿佐家」だけの「廣井和也」

みは筋交いを多用して棟を高くしている。部屋数も10ほどと充実している。

敷地には主屋のほか、祖谷地方に特徴的な土蔵、墓標の代わり平石を置いた「伏せ墓」も複数見られる。屋根を鉄板で覆った一部の改修を除き、建築当初の姿をとどめており、名主の暮らしぶりを今に伝える点に学術的に貴重と評価された。

徳善家は近世に祖谷を治めた名主八家(祖谷八屋敷)の一つ。県



県の有形文化財に指定される徳善家住宅＝三好市西祖谷山村徳善

たばこの歴史や文化を紹介する東京都の「たばこ塩の博物館」が、2015年3月の移転リニューアルに合わせ、かつて三好市で盛んに生産された刻みたばこの製造技術を記録し

た映像を制作している。「かんなど人力の加工機の使用方法を解説する内容で、新博物館の展示スペースで上映し来館者に理解を深めてもらう。

東京の博物館 移転に合わせ

新博物館は、黒田区にある日本たばこ産業の関連企業の倉庫を活用する予定で、オープンに向けた準備が進められている。旧博物館(渋谷区)は老朽化のため13年9月に閉鎖した。

展示スペースが2倍に増える新博物館では、三好市池田町で古時代から開発された加工機で、刻みたばこの生産量を増大させた「かんば」のレプリカと、「せんまい」の2種をこれまで通り展示。近くにモニター画面を新たに設置し、各1分半程度の解説映像を流す

刻みたばこの 解説映像制作

三好で加工機操作 撮影

1月22日は、学芸員の谷田有さん(55)が阿波池田には資料館(池田町マチ)を訪ね、2月下旬に町内である「四国酒まつり」に合わせて披露される刻みたばこの加工機の事前準備があり、日本たばこ産業池田工場OBの南さん(68)同町ワエール、藤井敏雄さんの「同町サラヤ」が刻みたばこ作りをする様子の方々に取材した。

谷田さんは「たばこ産業の発展に重要な役割を果たした機械。映像で



「たばこ塩の博物館」で解説映像撮影する学芸員の谷田さん(左から)と「三好市池田町マチ」の阿波池田は「資料館」

撮影する「たばこ」がと話ししている。(異佐)

項目

文化財の魅力向上につながる取り組み

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

◎伝統的町並み周辺での地域おこしイベントの実施／歴史的風致維持向上計画の重点区域である三好市池田町の本町筋周辺には、阿波葉の刻みたばこ産業で栄えた名残を留めるうだつの町屋など伝統的な町並みが残っているが、この歴史的で文化的な空間を活用したイベントが地元NPO法人や町おこしグループなどの手によって定期開催され、過疎化等で衰退していた町並みにスポットが当てられ、観光PRや交流人口拡大を図るイベントとして注目を浴びた。イベント会場では、多くの参加者がマルシェを楽しむだけでなく、文化財公開施設の旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)を拝観し、館内では刻み煙草の実演が公開され、文化財の魅力向上にもつながった。

開催日: H25.11.23 H26.2.22 (2回)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

周辺にある文化財や文化資源をよりイベント参加者にも親しんでもらえるように、イベント関係者との情報交換などが必要である。

状況を示す写真や資料等

- うだつマルシェ イベント参加者 1,000人～2,000人／1回当たり
- 開催場所 三好市池田町 本町筋周辺



うだつマルシェの開催状況
(伝統的な町並みを活かしたイベント)



「阿波池田うだつの家」の公開状況
(ミセノマでの煙管の試飲)



刻みたばこが手刻みから機械へと移った時代(藩政期～明治期)に使用されていた、かんな刻み機とぜんまい刻み機を使った、刻みたばこ実演の公開
(写真左が藩政期のかんな刻み機のレプリカ、写真右は明治期のぜんまい刻み機)



項目

三好市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

三好市には、たばこ産業で繁栄した当時を象徴する伝統的なうだつの町並みが市内中心部の池田町や隣接の井川町に残っているが、これまで池田町においては、過去に町並み調査が行われ、町並みの現状把握や学術的な価値づけが進められてきたが、一方の井川町においてはこれまで調査がされておらず、今回、三好市歴史風致維持向上計画認定を機に、計画に基づく三好市固有の地域資源の掘り起こしを図るため、平成23年度から井川町辻地区の伝統的な町並み調査に取り組んだ。25年度においても建造物の詳細調査や町並みの古写真を展示するパネル展の開催など町並み調査事業を継続的に実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

市内他地区の伝統的町並みと相乗効果を図るための保存活用計画策定の検討が課題である。伝統的建造物の詳細調査を進めるにあたり、空き家が多く調査に時間を要する。このため、調査委員会を中心にこれらの課題解決に向けた検討を行う。調査成果は、地元でフィードバックし、保存や活性化につなげていく。

状況を示す写真や資料等



歴史的建造物の詳細調査



井川町辻地区の町並み散策マップ



辻の町並み散策イベント(H26.3.23開催)



辻の町並みを写した古写真をパネル展示 (H26.3.23開催)

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	歴史的風致を形成する文化財建造物は、保存と活用に努める。特に改修が必要な建造物について支援を行い、その他建造物は「歴史的風致形成建造物」や文化財の指定等を進める。個人管理で維持管理が難しい建造物は公有化を推進する。また、歴史的建造物等の活用を促すための案内板、説明板等の充実を図る。
計画に記載している課題	市内の歴史的建造物は、特に個人管理によるものが維持経費に係る負担が重く、改修が進まず老朽化が進んでいる。過疎・高齢化も伴い、空き家化や空き地化が進行し、歴史的建造物の維持管理が難しい状況となっている。 文化財を紹介する案内標識や説明板等が不足しており、整備が急がれている。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③奥祖谷二重かずら橋保存修理事業／歴史的風致形成建造物に指定し、架け替えによる保存修理を行った。</p> <p>③阿佐家住宅保存修理事業／歴史的建造物の公有化を行い、保存修理に向けた仮設・解体工事の実施設計を作成した。</p> <p>③簾庵住宅保存修理事業／歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理を行った。</p> <p>③旧真鍋家住宅保存修理事業／離れ座敷の保存改修を行った。</p> <p>③川人家長屋門保存修理事業／歴史的建造物の公有化を行い、保存修理に向けた実施設計を作成した。</p> <p>③三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業／個人所有の歴史的建造物を計画的に保存修理を行った。</p> <p>④文化財の保存・活用に関する事項／文化財の指定及び登録を推進した。 <input type="checkbox"/>市指定状況…4件(H22:1件、H23:1件、H24:2件) <input type="checkbox"/>国登録状況…8件(H22:4件、H23:4件) <input type="checkbox"/>伝統的町並み調査…1カ所(H23～25:井川町辻地区)</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>歴史的建造物は、調査を実施し、文化財指定や登録を進めた。また、歴史的建造物の適正な維持管理を行うため、修理事業を実施した。この4年間で整備を進めてきた結果、修理を終えた歴史的建造物の公開が行われ、利用者の増加がみられた。また、滞在型交流施設として活用が図られ、地域活性化につながった。</p> <p>しかし、阿佐家住宅保存修理事業については、関係者との協議や設計変更に時間を要したため、事業期間の変更が必要となった。</p> <p>【定量的指標】</p> <p><input type="checkbox"/>文化財の修理に関する項目…7棟(H22:伝建地区(1棟)、H23:伝建地区(1棟)、H24:旧真鍋家住宅(1棟)、H25:伝建地区(4棟))</p> <p><input type="checkbox"/>文化財の修繕に関する項目…4件(H24:市指定(3件)、県指定(1件))</p> <p><input type="checkbox"/>文化財の説明板整備に関する項目…18カ所(H22:3カ所、H23:7カ所、H24:6カ所、H25:2カ所)</p> <p><input type="checkbox"/>滞在型交流施設の活用／来訪者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落合重要伝統的建造物群保存地区(2棟) H24年(4月～12月):806人、25年(1月～12月)987人 ・簾庵住宅(1棟)の利用者数 H24年(4月～12月):117人、25年(1月～12月)771人 <p><input type="checkbox"/>歴史的建造物の公有化…2件(H24:1件、H25:1件)</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p><input type="checkbox"/>想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/>今後発現が予想される</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/>現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> <p>保存修理が完了した歴史的風致形成建造物を順次公開施設や滞在型交流施設として活用を図ることで、利用者の増加等の一定の効果がみられるため、重点区域の拡大により更なる波及を目指す必要がある。一部の事業では、関係者との協議・調整に時間を要したため、事業着手が遅れ、計画期間内の事業達成ができていない。事業計画の見直しを図り、事業を早期に完了させる必要がある。</p>
計画見直しの必要性	<p><input type="checkbox"/>計画の見直しが不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>計画の見直しが必要</p> <p>(見直しの理由・方針)</p> <p>事業の遅れがみられる一部の保存修理事業を早期に完了させるため、計画変更により計画期間及び事業期間を延長し、事業を推進する。また、重点区域を拡大して事業を展開し、効果の更なる普及を図る。</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	歴史的風致の維持向上に重要な役割を果たしている伝統文化は、実態調査や課題の把握に努め、地域の実情に応じた積極的な支援を行う。また、後継者育成のための公開事業や体験教室等の開催、記録保存を進めるほか、文化財施設と連携した活用イベントを開催する。
計画に記載している課題	近年の少子・高齢化や若者の都市流失に伴い、伝統文化に関わる後継者不足が深刻で、伝統的な形態が失われつつある。橋の架け替えに従事する伝統技術者の養成や祖谷地方の伝統的建造物である茅葺き屋根を維持、保存するための伝統技術者である茅葺き職人の養成も大きな課題となっている。
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③伝統文化や伝統芸能の公開／市内で保存継承されている伝統文化や伝統芸能の公開事業が取り組まれた。</p> <p>③伝統的町並みのガイド育成／市内に残る伝統的な町並み(地域資源)を活かした取り組みが進められた。</p> <p>④伝統文化保存団体への支援／H22～25:市内保存団体(18団体)に運営補助金を支給した。</p> <p>④伝統文化保存団体への支援／H22～25:市内保存団体(2団体)に用具、衣装の購入費補助を行った。</p> <p>④文化財施設と連携した活用イベント／H24～25:旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)での公開活用イベントを開催した。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>歴史的風致の維持向上に重要な役割を果たしている伝統文化保存団体に対して、運営費の補助や用具、衣装の購入補助を継続的に行った。この4年間で整備を進めてきた結果、存続が危ぶまれる保存団体の活動継続が図られ、伝統文化の継承に成果が見られた。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>○運営費支援団体の増加／H22:17団体→H25:18団体</p> <p>○伝統芸能公開事業の定着と継続(H22～H25)</p> <p> 祖谷平家まつり、襖からくり公演会</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> <p>伝統芸能保存団体の継承を図るため、従来から保存団体への間接的支援を行っているが、過疎・高齢化による会員の減少で、引き続き継承が厳しい状況にあるため、今後も現在の支援を継続していく必要がある。さらに後継者の確保や将来的な人材育成を図るため、文化財施設や学校等と連携した公開活用事業をさらに推進していく必要がある。</p>
計画見直しの必要性	<p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要</p> <p>(見直しの理由・方針)</p> <p>伝統文化保存団体の継承や後継者確保をさらに進めていくため、計画変更により計画期間を延長して、これまで同様に間接的な支援を継続する。</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

<p>評価対象年度</p>	<p>22年度～ 25年度</p>
<p>計画に記載している方針</p>	<p>歴史的風致を残す祖谷地方の山村集落と池田町の商家町並み等の保護を図るため、三好市景観計画において景観への配慮事項を定め、歴史的風致を損なっている耕作放棄地や市街地の空き家、空き地化の解消に努めるとともに、建造物や屋外広告物等については景観上の改善を促す等、歴史的風致を損なわないよう保護を徹底する。</p>
<p>計画に記載している課題</p>	<p>伝統的な町並み周辺の景観を損なう建物や生活道の開設、電柱の設置等が見られるほか、山村集落周辺の農地では後継者不足や高齢化等により耕作放棄地が拡大している。市街地においても若者の都市流出が進み、空き家化や空き地化が進行し、歴史的風致の維持に大きな影響を及ぼしている。 また、蔓橋周辺の屋外広告物も景観を阻害する要因となっている。</p>
<p>対応する進捗評価項目とその推移</p>	<p>②景観計画の活用と景観条例の運用／景観計画に基づく景観条例を制定した。 ③三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業／茅葺屋根の民家が広がる集落景観のイメージにそぐわないトタン屋根をガイドラインに沿った色彩に統一するための所有者支援を行った。 ③喜多家住宅(武家屋敷)保存修理事業／景観にそぐわない廃屋民家を撤去した。 ③農地の保全整備と遊休地の活用事業／耕作放棄地を解消するための農地再生事業や啓発活動が取り組まれた。 ③三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業／石垣補修を実施した。</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>歴史的風致を維持向上させるための景観整備については、景観条例を制定・施行し、景観への配慮事項や新たな基準等も策定し、景観改善に努めた。また、落合地区を中心として景観整備事業を進め、景観改善に努めた。この4年間で整備を進めてきた結果、景観に対する市民意識の向上が図られた。</p> <p>【定量的指標】 ○落合重要伝統的建造物群保存地区景観改善事業(トタン屋根の色彩統一を進める費用助成)／55棟(H22:9棟、H23年:19棟、H24:21棟、25年度:6棟)</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input checked="" type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 景観整備については、事業を実施した箇所では一定の成果がみられるが、市内が広域であるため、未だに事業未実施の箇所(耕作放棄地等)が多く、また、過疎・高齢化の進行によって空き家化や空き地化が以前深刻であるため、現在取り組みを進めている各事業を継続的に実施し、景観整備をさらに推進する必要がある。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) 市内全域を目指した景観保全や景観整備を将来的に進めていくために、計画変更により計画期間を延長し、現在の各事業が継続できるようにする。</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	歴史的風致を形成する祖谷の蔓橋、祖谷地方の茅葺き屋根などの歴史的建造物の維持、保存に必要な資材(シラクチカズラ、茅等)を確保するため周辺環境整備を図る。
計画に記載している課題	祖谷の蔓橋の架け替えや伝統的建造物の茅葺き民家を維持、保存するための伝統技術者の養成が大きな課題となっている。また、祖谷の蔓橋の架け替えには、約6トンの資材(シラクチカズラ)が必要とされるが、近年は資材確保が困難となっている。茅葺き屋根用資材を確保するための茅場も近年減少している。
対応する進捗評価項目とその推移	③蔓橋架け替え用資材の確保と育成活動／祖谷の蔓橋の架け替え資材として必要なシラクチカズラの植栽と保護活動に取り組んだ。
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>祖谷の蔓橋の維持、保存に必要な資材(シラクチカズラ)を確保するための苗木の育成活動を地元の実行委員会と中学生が共同で取り組んだ。この4年間で取り組みを進めてきた結果、文化財保護や蔓橋周辺の景観保護に対する市民の意識の高揚が図られた。</p> <p>茅材確保については、地元関係者からの情報収集に努めることで調査候補地となる茅場が市内で数カ所ピックアップされた。この4年間で事業の具体化を検討してきた結果、国が実施している関連の支援事業について、今後要望していくこととなった。</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p> <p>茅材確保について、調査候補地の茅場が数カ所見つかったため、今後早急に現地調査を行う必要がある。また、茅材の安定確保を図るための事業化の検討を進めるための支援事業が見つかったため、今後早期に支援事業の活用を検討する必要がある。このようなことから、計画期間を延長し、事業を具体化していく必要がある。</p>
計画見直しの必要性	<p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが不要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要</p> <p>(見直しの理由・方針)</p> <p>茅材の安定確保に向けた事業化の検討を早急に進めるため、計画変更により計画期間及び事業期間を延長して、計画期間内での事業化を目指す。</p>

<p>評価対象年度</p>	<p>22 年度～ 25 年度</p>
<p>計画に記載している方針</p>	<p>市内の貴重な歴史的文化的文化遺産の掘り起こしと価値づけを進めるための伝統文化や歴史的建造物の実態調査を行う。各種の啓発活動を通じ、文化財の保存活用に関する市民の意識を高める。また、保存団体、所有者との協議を図り、良好な保存に向けた取り組みを推進する。</p>
<p>計画に記載している課題</p>	<p>市内には、歴史的価値の高い文化遺産が数多くあるが、掘り起こされていないものも多い。また、市民の文化財に対する意識が低いため、市民への文化財の保存活用に対する意識を高めていくための啓発が課題となっている。</p>
<p>対応する進捗評価項目とその推移</p>	<p>④歴史的文化的文化遺産の掘り起こし／市内の歴史的文化的文化遺産の掘り起こしや新たな価値づけを図るため、未指定文化財の調査や伝統的な町並み調査を実施した。 ④公開施設の整備と展示物の充実による活用推進／東祖谷歴史民俗資料館の展示資料替えを行ったほか、旧真鍋家住宅、重伝建落合地区滞在型交流施設の公開・活用を行った。 ④文化財の普及・啓発について／市ホームページを活用した情報発信や文化財パンフレットを作成した。</p>
<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>歴史的文化的文化遺産の掘り起こしと価値づけを進めるため、伝統的な町並み調査を実施し、調査地区内で町並みを活用していくための新たな取り組みが生まれた。また、文化財や歴史文化遺産の保存や活用への意識を高めていただくための公開事業や普及啓発活動を行った。 この4年間で取り組みを進めてきた結果、歴史的文化的文化遺産の保存や活用に対する市民の意識の高揚が図られた。 【定量的指標】 伝統的町並みの調査実施箇所 0カ所 ⇒ 1カ所</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項) 伝統的町並み調査を実施し、一定の波及効果がみられるが、今後の町並み保存や活用に向けての具体的な検討を進めるには、所有者や地元住民の意見を十分反映させていく必要があるため、今後、ワークショップ等の開催が必要である。また、保存修理に向けては、伝統的な町並み特有のからなる歴史的景観を損なわないよう修理方針や活用計画を検討する必要がある。 また、文化財の保存や活用への市民意識を高めていくには、今後継続的な普及啓発活動が必要である。</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) 町並み調査によって一定の価値づけが図られた伝統的町並みの今後の保存・活用に向けた具体的な検討を進めるため、計画変更を行い、町並み調査区域周辺を重点区域に設定し、具体的な事業期間を設定することが必要である。また、文化財の保存や活用への市民意識を高めていくには、計画変更による計画期間及び事業期間の延長を行い、普及啓発事業を継続する。</p>

評価対象年度	平成22 年度～ 25 年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み①:阿佐家住宅保存修理事業	
(取り組み概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ●阿佐家住宅保存修理事業全体計画の作成(23年度) ●所有者協議(22年度～24年度) ●主屋の公有化(23年度～24年度) ●主屋の仮設・解体工事の実施設計作成(24年度) ●主屋の仮設工事の施工(25年度 ※24年度繰越事業) ●関係機関との協議(23年度～25年度) 	
(自己評価)	
<p>老朽化が進んでいた県指定有形文化財「阿佐家住宅」(主屋)の保存修理と公開活用施設整備に向けての全体事業計画(1期:主屋の公有化と仮設・解体工事実施設計作成、2期:の仮設・解体工事施工と復原工事実施設計作成、3期:復原工事と外構工事の施工、4期:調査内容のまとめと公開(報告書作成等)のうち、1期分は達成できた。</p> <p>しかしながら、4年間の間で、予測していなかった課題が具体的に見つかったため、それらの改善に向けての前所有者や関係機関等の協議・調整に不測の時間を要した。課題を段階的に改善していく中で、事業を軌道に乗せることができたが、全体事業期間の延伸(見直し)が必要となった。</p>	
(外部評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・外部有識者名(役職・肩書き等):三好市歴史的風致維持向上計画協議会 副会長 喜多 順三 ・外部評価実施日:平成26年5月26日 ・有識者コメント <p>今後、事業期間の見直しや遅延が発生しないよう、進捗管理には十分に留意して下さい。</p> <p>歴史的風致の維持向上には地域の文化財保存技術者育成が不可欠であるため、復元工事に関する調査や工事中の現場に地元の技術者が参加・立会をして、継続的に現地研修できるようにすることが望まれます。</p> <p>完成後の施設公開に関しては、施設の運営と維持管理が重要となり、地元の関係者や有志による検討会などを行い、早い段階での方針の決定と実施体制の確立に取り組む必要があると思います。</p> <p>阿佐家周辺にも、歴史的風致を阻害している構造物などが見受けられます。これらの対策への検討も必要ではないでしょうか。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>今後の阿佐家住宅保存事業に係る公開活用事業等の事業計画を検討する際に、今回のコメントを十分考慮しなければならない。</p>	

評価対象年度	平成22 年度～ 25 年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
代表的な取り組み②:三好市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み	
<p>(取り組み概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井川町辻地区町並み調査事業(23年度～25年度) ●井川町辻地区町並み中間報告会(写真パネル展等)の開催(24年度～25年度) ●井川町辻地区歴史的建造物空き家の利活用事業(25年度) ●井川辻地区町並みガイドの養成(25年度) ●井川辻地区町並み散策マップの作成(25年度) 	
<p>(自己評価)</p> <p>たばこ産業で繁栄した当時を象徴する伝統的な町並みが残る井川町辻地区において、町並み調査事業、町並み保存活用事業に取り組んだ。各取り組みは、町並み調査事業がおおよそ7割達成できたが、23年度から25年度の間で、予測していなかった調査項目の追加や課題が具体的に見つかったため、それらの追加調査や課題の改善に向けての所有者や関係機関等の協議・調整に不測の時間を要した。これに伴い、調査期間を26年度まで延長した。</p> <p>このほか、これまで一定の評価がされつつも学術的な調査が行われなかった地域で、町並み調査事業が具体的に取組まれることで、地元や市の他部局への波及効果がみられた。特に地元からの伝統的な町並みの保存や利活用に対する関心が高まりつつあるほか、市まちづくり部署が歴史的建造物の空き家利活用事業に取り組んだほか、市観光部局が町並みガイドの養成や町並み散策マップの作成、市観光協会が町並み散策客の受け入れに取り組むなどの契機につながった。</p>	
<p>(外部評価)</p> <p>・外部有識者名(役職・肩書き等):三好市景観審議会委員、三好市文化財保護審議会委員 戸家 誠</p> <p>・外部評価実施日:平成26年5月28日</p> <p>・有識者コメント</p> <p>井川町辻地区が鉄道開通以前の吉野川水運を利用した「川港」と、葉タバコ関係の産業、周辺地域を商圈とした商業によって栄えた歴史を改めて掘り起こして提示したことは、地域住民に歴史認識と観光資源としての活用を呼び起こしたことが評価できる事業であったと言える。特に地域の「センター」となる空き家を整備・再生して「朝市」開催に結びつけたことや展示スペースを設けたことも良好な企画であった。町並みガイドや散策コース設定については一定の評価はできるが、観光客等地域外からの集客をどのようにするか、特に駐車場の問題、鉄道利用客の誘導方法などについては解決できていないように思われる。また、過去の遺産のみに頼らない、現在の「目玉」となる「商品開発」(あるいはソフト面の充実)も必要なのではないかと思われる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み(特に井川町辻地区町並み調査事業)に係る今後の新たな取り組みを検討する際に、今回のコメントを十分考慮しなければならない。</p>	

評価対象年度	平成22年度～平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 平成25年度第3回三好市歴史的風致計画協議会	
会議等の開催日時: 平成26年3月5日(水)10:30～12:00	
(コメントの概要)	
<p>●平成25年度進捗評価及び総括評価に対する各委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総括評価では、「できていません。やっていません」から「計画延長します」では説明にならない。できなかった理由を素直(具体的)に書いた方がいい。取り組んできた作業の中で見えてきたから、そこを解決していきたいような内容で書いていってはどうか。 ・阿佐家住宅保存修理事業や辻地区の町並み調査事業などは、課題が明確化し、継続性の理由も付きやすいので、そういう部分を強調してまとめてはどうか。 ・真摯に事業をやってきたが、「調整上できなかった」など、何が足りなかったのかを説明してはどうか。 ・継続的に実施していく必要がある事業は、改善して進めていくのか、改善せずにそのまま続ける方針なのか。継続していくには、何らかの改善事項を加え、新たなやり方をこう加える、やり方をこう変えるなどの記述があるのではないか。 ・基本的はできたが、新たな課題が出てきた。予想していない課題が出てきた。そこを予測していなかったので、事業ができていないということに繋がっていくので、そこを考慮すること。 ・特に最後の要改善事項と計画見直しの必要性の書き方をかなり考えないといけない。達成したが、新しい課題ができた、地元の気分が盛りあがってきたので市も応援したいなど、そういう論調も検討してほしい。 	
(今後の対応方針)	
<p>今回の委員からのコメントを受け、25年度の進捗評価及び総括評価の記載方法を全体的に見直した。特に評価の方法(書き方)については、委員より具体的なコメントが出されたので、今後の事業評価に十分反映させなければならない。</p>	